

忍びの里

「伊賀」

「忍者市宣言後の動き」

【問い合わせ】 観光戦略課

TEL 22・9670 FAX 22・9695



ここでは
日本遺産に
認定された
ストーリーを
紹介するよ！



忍びの里伊賀・甲賀
リアル忍者を求めてー

◆ストーリーの概要

今や海外にまで広く知れ渡り、奇抜なアクションで人々を魅了している忍者ですが、その真の姿はあまり知られていません。

忍者は、複雑な地形を利用して数多くの城館を築き、互いに連携して自らの地を治め、地域の平和を守り抜いた集団でした。

伊賀・甲賀には、そんな戦乱の時代を駆け抜けた忍者の伝統が今も息づいており、忍びの里に残る数々の足跡を訪ねることで、リアルな忍者の姿が浮かび上がります。

◆ストーリーを構成する 市内の文化財など

①伊賀の中世城館群と

天正伊賀の乱激戦の城跡

(福地城跡・柏野城跡・竹島城跡・壬生野城跡・雨乞山砦跡・百地砦跡など)
伊賀惣国一揆衆たちの城

「忍者市」の
1年間を振り返ろう



伊賀市が「忍者市」を宣言してから
まもなく1年が経過します。
そこで、この1年間の忍者に関する
主なできごとをまとめて振り返り
ます。

▼忍者市宣言(2月22日)

昨年の忍者の日(2月22日)に、伊
賀市は「忍者市」を宣言しました。

忍者市宣言

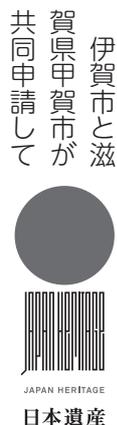
宣言文

私たち伊賀市民は、伊賀
市が忍者発祥の地であるこ
とを認識し、忍者の歴史文
化や精神を継承するととも
に、忍者を活かした観光誘
客やまちづくりを行うこと
を目指して、ここに「忍者
市」を宣言します。

平成29年2月22日

伊賀市長 岡本 栄

▼「忍びの里伊賀・甲賀
—リアル忍者を求めて—」
日本遺産認定(4月28日)



伊賀市と滋
賀県甲賀市が
共同申請して
いたリアルな忍者の姿を追求するス
トーリー「忍びの里伊賀・甲賀—リ
アル忍者を求めて—」が*日本遺産
に認定されました。

*地域の歴史的魅力や特色を通じて日
本の文化・伝統を語るストーリーと
して文化庁が認定するもの。

ストーリーの内容について
詳しくは2~5ページ下部
をご覧ください。

▼国際忍者研究センター
開設(7月1日)

三重大学が、忍者研究の新たな拠
点となる「国際忍者研究センター」を
ハイトピア伊賀内に開設しました。

このような忍者の学術研究機関は
世界初で、この
センターを拠点
として忍者の研
究や世界的な情
報発信などに取
り組んでいます。



研究の拠点を
忍者の本拠地「伊賀市」に



三重大学人文学部
山田 雄司教授

私は、普段は三重大学で授
業を行う一方で、「国際忍者研
究センター」の副センター長
を務めています。

「国際忍者研究センター」は
大学のある津市ではなく、忍
者の本拠地である伊賀市から
国内外へ発信することに意義
があると考え、開設に至りま
した。

ここでは、忍者に関するさ
まざまな研究を行ったり、市
民講座を開いたりするほか、世
界中の研究者との連携なども
検討しています。

研究の中では、忍者という
存在をただ明らかにするだけ
でなく、現代では忘れられて
いる知恵や精神を解明し、現
代社会に生かしていきたいと
考えています。

忍者が生きる術として身に
つけた忍びの心をより多くの
人に伝えていきたいですね。

館跡。中でも雨乞山砦跡は天
正伊賀の乱
の際に伊賀
者が徹底抗
戦した城で
もある。



②上野城跡(平楽寺跡)
織田信長
の侵攻時な
どに伊賀衆
の軍議が行
われた場所。



③霊山山頂遺跡
山岳寺院跡。ここでは多
くの修験者が修行をしてい
た。伊賀忍
術は修験道
に端を発す
るとされて
いる。



④手力神社と手力の花火
伊賀三大大上忍の1人、藤
林長門守一族の氏神。10月17
日の花火大会は、藤林一族が
火の忍術
を得意と
していた
ことに由
来する。



▼「忍びの里伊賀」創生プロジェクト発足(8月5日)

忍者の心・技・体を体験する観光プログラムや地域の活性化を進めるため、日本航空(株)・三重県・三重大学・伊賀市が連携して、「忍びの里伊賀」創生プロジェクトを発足しました。



△忍者トレイルランニングレース▽

11月3・4日に、このプロジェクトの一環として忍者が駆け抜けた山を走る「コンセプトに、トレイルランニングレースを開催しました。」



▼伊賀市オリジナル年賀はがき販売(12月3日)

「忍者市」の認知度を高めることを目的に、(社)伊賀上野観光協会と共同で年賀はがきを作成しました。



現代に息づく
忍者の精神



●現代の生活との共通点

忍者は日々厳しい任務をこなしていたため、ストレス解消に気を配ったり、健康的な食事や規則正しい生活習慣を求め、健やかな身体と精神の維持に努めていました。

時代は違っても、このような考え方は現代にも当てはまり、環境や価値観が似ていたことがわかります。

●「九字護身法」で平常心を保つ

そんな忍者が、精神統一のために行っていたのが「九字護身法」です。

九字護身法

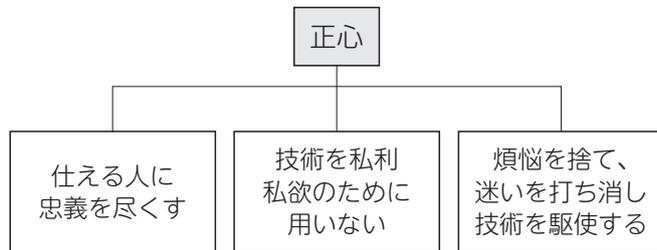
「臨」「兵」「闘」「者」「皆」「陣」「列」「在」「前」という9つの文字を唱え、両手で印を結んだり、決められた型のおりに手刀を動かすもの。これを行うことで精神を統一させ、冷静さを取り戻していたようです。

※ここでの九字護身法の読み方や表記は代表的なものです。



●忍者の心構え「正心」

忍者は、主君に忠誠を誓い、私利私欲のために習得した技を使わないことなど、常に正しい心(正心)をもたなければならぬという教えを受けていました。



※これらのほかにも、「いつも笑顔で心おだやかでいること」「善悪の判断を身に付け、だまされないように気をつけること」などがあり、正心をもたない忍者は盗人と同じであるとされていました。

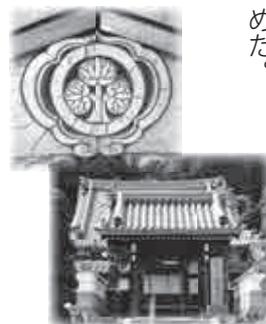
◆漢字四文字で忍者の心構えを表す
こんな言葉も：

- 「滅私奉公」 自己より他人のために尽くす
- 「廉恥潔白」 恥を知り正直を貫く
- 「必死覚悟」 常に真剣に物事に取り組み

このような忍者の教えは、今の私たちの暮らしにも受け継がれていることばかりです。

⑤徳永寺

本能寺の変の直後、堺にいた徳川家康が伊賀越えの際に宿泊し、そのお礼として瓦紋の瓦などの使用を認めた。



⑥修験道の寺 松本院

忍者のイメージの1つとなった修験道の寺。



⑦壬生野地域の中世城館群と春日神社

(春日神社拝殿・雨乞願解(おあえまじり)すまういたはんづけ) 大絵馬附相撲板番付・春日神社古文書・獅子神楽・伊賀国無足人帳・長屋座(土壘や堀が残る見事な中世城館が多く分布し、戦国時代の景観が今も残る。)



みんなで「忍者市」を盛り上げよう



し、早くから忍者を観光の切り口として取り組んできました。今や春の風物詩となった「伊賀上野N-NJ Aフェスタ」は、市や観光協会だけでなく、市民や企業・団体など、市全体で忍者によるおもてなしを行っています。

●忍者への認識を深めることから

忍者を生かした観光にさらに力を入れていくためには、まずは市民みんなが伊賀市は忍者発祥の地であるということに改めて認識し、その歴史や精神を継承することが大切です。

●忍者を生かしたおもてなし

市では、市町村合併前の1979(昭和54)年から「忍者祭り」を開催

●もっと忍者を感じられるまちへ

市では、今後も忍者を切り口・入り口として、忍者の歴史文化や精神を感じられるまちをめざしてさまざまな取り組みを進めていきます。

皆さんも、忍者を生かした活動へ積極的に参加するなど、それぞれの場所で忍務をこなし、みんなで「忍者市」を盛り上げていきましょう！

国際忍者学会の設立を記念して



国際忍者学会は、忍者に関する研究を推進し、忍者に興味関心をもつ人々が集まって交流・親睦をはかることを目的とした学会です。

このたび、設立を記念して、設立総会と講演会・シンポジウムなどが次のとおり開催されます。

皆さんぜひご参加ください。

※参加には、インターネットまたはファックスから事前の申し込みが必要が必要です。

※国際忍者学会への入会は当日会場
で受け付けます。

国際忍者学会 設立記念大会

「忍者の魅力 ―クロスオーバーする忍者―」

【とき】 2月17日(日)

午前11時～午後8時

【会場】 サンピア伊賀 白鳳の間

※申込方法や参加費、当日の詳細いスケジュールは、二次元コードを読み取ってご確認ください。

【申込先・問い合わせ先】

三重大学国際忍者研究センター

☎/FAX 51・7154



⑧ 敢国神社

伊賀流忍術を開花させた服部一族が、平安時代に「黒党祭」という祭りを行っていたといわれる伊賀国の一之宮。



⑨ 伊賀流忍者博物館

(伊賀流忍者屋敷)

1961年に高山にあった農家住宅を、移築・改築したものだ。



⑩ 忍町

江戸時代、藤堂藩の伊賀者の屋敷があった場所。赤井家住宅(武家屋敷)が当時の面影を残す。



⑪ 藤林長門守墓所

藤林一族の墓所で、25基もの墓碑が並ぶ。



まずは自分にできることから活動を始めてみませんか

私は15年前に忍者グッズ店を始めました。その後、忍者に携わる活動への参加要請をいただく機会が多くあったのですが、当時はそれらすべてにお応えする時間をつくることができませんでした。

「自分に協力できることはたくさんあるのにもったいない」という思いをずっと抱えながら、ようやく他の活動が落ち着いた2012(平成24)年6月に、『伊賀流忍者サークル〜伊賀之忍砦〜』を立ち



伊賀流忍者サークル
～伊賀之忍砦～
代表 福永 真司さん

上げることができました。

今では約70名ものメンバーが在籍しており、今後は、まちなかに忍者が集える交流の場や手裏剣打ちなどの練習ができる拠点をつくりたいと思っています。世界に誇れるコンテンツ「忍者」を生かした活動(忍活)を、我々と一緒に始めてみませんか。